

「家庭学習」

授業中、真剣に教員の話の聴いたり、学習したりしている姿が見られる。でも、授業で学習した内容がすべて分かり、一度話を聞けばすべて理解できる、覚えているという人はいないだろう。脳に記憶されたと思えたものでも、よほど印象が強くないと、時間とともに忘れてしまう。それは誰でも同じこと。学習したことを身につけるためには、何度も繰り返し確認したり、使ったりすることが必要だ。

学校の授業では、各授業の最初に前回の復習をすることが多い。でも、そのときは思い出しても、また忘れてしまう。だから、家庭での復習は必要だ。先日行ったアンケートでは、「後期中間テスト前、部活動がない日にどれくらい学習したか」を尋ねた。その結果、2時間以上学習した生徒は3年生で77%だったが、2年生で60%、1年生では50%であった。3年生は高校に提出する成績の資料として、アップさせる最後のチャンスだったので、多くの生徒は頑張っていたようだ。しかし、2年生や1年生はかなり低く、1年生は前期行った2回の定期テストのときに比べると、テスト前の学習意欲はかなり下がっているようだ。

さらに、日頃の学習となると大きく下がる。12月上旬に行ったアンケートによると、家庭での学習時間に関して、2時間以上学習している生徒は、3年生で51%、2年生で9%、1年生で8%あった。さらに、基準を下げて1時間以上学習している生徒でも、3年生で79%、2年生で33%、1年生で38%あった。多くの生徒は授業で出された学習課題をしているくらいか。部活動で疲れて、家庭で勉強する気にならないとか、いろいろ理由はあるだろうが、ゲームをしたり、スマホを見ていたりする時間を少しは学習の時間に回せないだろうか。

「日頃から学習していればよかった」。3年生は進路を決めるこの時期に痛感しているだろう。2年生や1年生も家庭学習をする習慣をきちんと身につけておくと、3年生になってから楽だ。あと2週間後、2月21日から今年度最後の定期考査「後期期末テスト」が行われる。今から学習計画を立て、実践しましょう。

2月6日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 短い方が5 cm、長い方が10 cmのタイルが8枚あります。このタイルを使って、一辺が20 cmの正方形の形をした壁面をうめます。何通りの置き方が考えられますか。